

# 株主の皆様へ



## 三井倉庫株式会社



### 第156期第3四半期報告書

平成15年4月1日から

平成15年12月31日まで

Logistics Information Technology



## 第3四半期(連結)のハイライト

	平成16年3月期第3四半期	平成15年3月期(参考)
営業収益	672億4,900万円 (前年同期比+1.7%)	880億2,100万円
営業利益	34億6,800万円 (前年同期比+16.4%)	40億5,100万円
経常利益	30億4,800万円 (前年同期比+19.9%)	34億3,100万円
四半期(当期)純利益	18億3,600万円 (前年同期比+38.9%)	21億2,800万円
1株当たり四半期(当期)純利益	13円18銭 (前年同期比+38.9%)	15円12銭

### 目次

ごあいさつ	1
第3四半期(連結)の概況	2
フォーカス「データセキュリティ-MSCLレコードセンター建設中-」	4
会社の概要	5
株式の状況	5

## ごあいさつ



代表取締役社長 田村 和男

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第156期第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社は、お客様が必要とされるサービスを最も適した形で提供する「最適物流創造企業」という理念を掲げ、社会インフラに不可欠な機能を提供する企業としての社会的使命を十分に認識しつつ、企業価値を高めるために積極的な事業活動を行ってまいりました。

こうしたビジョンを具体化するための経営施策として、一昨年、『グループ経営改善計画』を策定し、「既存事業における利益拡大」「グループ経営の効率化の推進」「事業領域の質的転換と新規事業の開発促進」の3項目を当面の事業方針と決めました。昨年はこれを『中期計画2003』として一部改定し、平成18年3月期の数値目標を設定しました。今後も引き続き3つの事業方針を基本に、数値目標の達成に向けて、あらゆる経営努力を重ねていく所存でございます。

来年度の重点施策といたしまして、国内においては、東京・町田市に建設中であるBPO事業の戦略拠点となる「MSCレコードセンター」(仮称)を予定通り11月に完成させるとともに、海外では、マーケットが急拡大している中国における事業を強化していく考えです。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年3月

代表取締役社長

田村和男

# 第3四半期(連結)の概況 (平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)

## 一般の概況

当第3四半期までの業況は、輸出入貨物に比較的堅調な動きが見られたものの、一般的な国内貨物の動向には未だ回復傾向は見られませんでした。こうしたなか、当社グループは、意思決定のプロセスとスピードを重視した経営の実現に向けて体制を見直し、コーポレートガバナンス機能の向上を図るとともに、継続的な生産効率向上のための施策や経営に関する全てのコスト削減を進め、グループ全体での経営の効率化、経営資源の有効活用を図ってまいりました。

こうした結果、当第3四半期の連結業績は、売上高672億49百万円、営業利益34億68百万円、経常利益30億48百万円となりました。

また、資産効率向上の観点から一部の保有資産及び投資有価証券の売却を行い、特別利益7億27百万円、特別損失6億87百万円を計上いたしました結果、当期純利益は18億36百万円となりました。

## 財政状態の変動状況

当第3四半期末の総資産は、現預金の減少はありましたが、株価の上昇による投資有価証券の増加や倉庫新設による有形固定資産の増加等により、前期末比9億73百万円増加の1,085億87百万円となりました。

株主資本は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前期末比26億93百万円増加の499億93百万円となりました。

## キャッシュ・フロー - の状況

当第3四半期末までの営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期との比較では、税金等調整前当期純利益の増加(前第3四半期比(以下「同」と記載)6億76百万円増)はあったものの、法人税等の支払額の増加(同5億56百万円増)等により、50億29百万円(同4億96百万円減)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により32億2百万円の減少となりました。また財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還や借入金の返済等の支出により71億63百万円の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物期末残高は、66億51百万円(同31億8百万円減)となりました。

単位:百万円(百万円未満切捨)

	第1四半期 (3ヵ月累積)	中間期 (6ヵ月累積)	第3四半期 (3ヵ月累積)	第4四半期予想 (3ヵ月累積)	通期予想 (平成16年3月期)	前通期実績 (平成15年3月期)
売上高	21,750	44,222	23,027	21,750	89,000	88,021
営業利益	1,019	2,134	1,333	831	4,300	4,051
経常利益	906	1,726	1,322	451	3,500	3,431
当期純利益	316	1,008	828	263	2,100	2,128

## 四半期連結貸借対照表

単位：百万円(百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 平成15年12月31日	前第3四半期 平成14年12月31日	第155期 平成15年3月31日
(資産の部)			
流動資産	26,042	30,191	30,044
固定資産	82,544	77,604	77,569
有形固定資産	60,673	58,190	59,013
無形固定資産	4,612	4,720	4,396
投資その他の資産	17,259	14,692	14,158
資産合計	108,587	107,795	107,614
(負債の部)			
流動負債	26,877	29,911	29,086
固定負債	29,943	30,628	30,551
負債合計	56,821	60,539	59,638
(少数株主持分)			
少数株主持分	1,773	683	675
(資本の部)			
資本金	11,100	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563	5,563
利益剰余金	30,533	28,603	29,409
其他有価証券評価差額金	4,296	1,933	1,893
為替換算調整勘定	1,494	623	661
自己株式	5	5	5
資本合計	49,993	46,572	47,299
負債、少数株主持分及び資本合計	108,587	107,795	107,614

(注)

	当連結第3四半期末	前連結第3四半期末	前連結会計年度
1.有形固定資産減価償却累計額	81,094百万円	77,419百万円	77,967百万円
2.自己株式の数	25,423株	22,862株	23,914株

## 四半期連結損益計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 平成15年4月1日から 平成15年12月31日まで	前第3四半期 平成14年4月1日から 平成14年12月31日まで	第155期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業収益	67,249	66,101	88,021
役務等原価	59,058	58,725	77,849
営業総利益	8,190	7,375	10,172
販売費及び一般管理費	4,722	4,396	6,121
営業利益	3,468	2,979	4,051
営業外収益	562	539	690
営業外費用	982	974	1,310
経常利益	3,048	2,543	3,431
特別利益	727	446	926
特別損失	687	578	1,061
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,088	2,412	3,296
法人税等	1,202	1,074	1,147
少数株主利益	49	15	20
四半期(当期)純利益	1,836	1,322	2,128

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 平成15年4月1日から 平成15年12月31日まで	前第3四半期 平成14年4月1日から 平成14年12月31日まで	第155期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,029	5,526	8,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,202	1,868	2,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,163	745	791
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	44	46
現金及び現金同等物の増減額(減少)	5,333	2,867	4,900
現金及び現金同等物期首残高	11,792	6,863	6,863
連結子会社増加に伴う 現金及び現金同等物の増加額	191	28	28
現金及び現金同等物期末残高	6,651	9,759	11,792

### 〔データ セキュリティ〕

#### BPOを支えるドキュメント&データ保管基地

三井倉庫は、拡大するBPO事業を積極的に展開しています。

本年11月の完成をめざし、東京・町田市に建設中の「MSCレコードセンター」(仮称)は、その戦略拠点となるドキュメント&データの保管基地です。

#### あらゆるビジネスパターンに 対応が可能

紙の文書を読み込み、デジタル情報にしてコンピュータに取り込めるようにした「文書の電子化」は、保有する文書情報を、必要なときにすぐに引き出せ、安全に保管できるため、利便性やコスト面だけでなく、企業競争力の強化や顧客満足度の向上、リスクマネジメントの確立といった面からも急速にニーズが高まっています。

三井倉庫は、平成14年8月、コダック社と提携し「BPO事業」をスタート。書類をスキャニングしたり、マイクロフィルムに撮影してデータを電子化する「イメージングサービス」や、電子化したデータの検索、イメージデータをインターネットを利用して画面で確認できる「イメージオンラインサービス」、トランクルームで長期保管し安全を確保する「トランクルームサービス」などの多彩なサービスを提供してきました。

「MSCレコードセンター」は、こうしたBPO事業の需要増に対応して建設する大型の専用施設です。敷地面積は約1万7,000m<sup>2</sup>、延べ床面積約2万3,000m<sup>2</sup>。書類文書や電子データなどあらゆるビジネスパターンに対応が可能で、箱単位、ファイル単位での保管からイメージオンラインのサービスまでお客様の業務形態に合わせた適切な管理システムを提案します。

#### 万全の保管管理体制を構築

データの保管管理には最善の注意を払っており、最新の防震装置を採用するのはもちろん、東海地震など大型地震発生の際にもその影響をほとんど受けない地層・地盤に立地しています。非常用自家発電装置も通常電源に加えて装備し、突然の災害においても、その電源供給により、貴重品やデータの理想的な保管管理を実現します。

セキュリティや防災管理も万全です。ITV、テレビモニターによる監視、IDカード装置による入退出管理など最新の防犯対策を行うほか、窒素ガスによる消火体制の導入など、重要書類や電子データの安全確保に万全を期しています。

BPO(Business Process Outsourcing)事業：

従来のアウトソーシングから一歩進んだもので、顧客の企業価値の増大を目的とし、業務プロセス全般にわたるコンサルテーションやサービスを提供する。



完成予想図

## 会社の概要

商 号 三井倉庫株式会社  
(英文社名：MITSUI-SOKO CO., LTD.)

設 立 明治42年(1909年)10月11日

主な営業種目 倉庫業

港湾運送業

国内運送業

国外運送業

不動産賃貸業

資 本 金 11,100,714,274円

従 業 員 750名(他に出向者89名)

(平成15年  
12月末現在)

役 員 代表取締役会長 椎野 公雄  
(平成15年  
12月末現在) 代表取締役社長 田村 和男  
代表取締役専務取締役 小野 武久  
代表取締役専務取締役 馬場 一基  
代表取締役専務取締役 帰山 二郎  
代表取締役専務取締役 永田 勝久  
取 締 役 兵頭 宏基  
取 締 役 岡本 雄爾  
取 締 役 林 良孚  
取 締 役 杉本 弘美  
取 締 役 大浦 俊夫  
取 締 役 笹尾 新一郎  
常任監査役(常勤) 田島 靖夫  
監 査 役(常勤) 木村 日出夫  
監 査 役\* 金澤 優  
監 査 役\* 森 昇

(注)\*印は商法特例法に定める「社外監査役」です。

## 株式の状況(平成15年9月30日現在)

発行済株式の総数…………… 139,415,013株(前期末比 増減なし)

株主数…………… 8,761名(前期末比 + 46名)  
うち1単元以上所有の株主 8,265名  
(前期末比 + 49名)

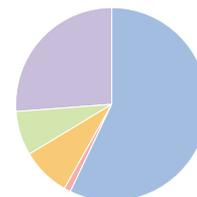
大株主(上位10名)

氏 名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	12,113	8.7
三井生命保険	10,197	7.3
三井住友海上火災保険	8,697	6.2
中央三井信託銀行	6,949	5.0
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	6,790	4.9
日本生命保険	5,788	4.2
三井倉庫従業員持株会	4,677	3.4
資産管理サービス信託銀行(信託A口)	3,686	2.6
三井住友銀行	3,484	2.5
モルガンスタンレーアンド カンパニーインク	3,009	2.2

(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。

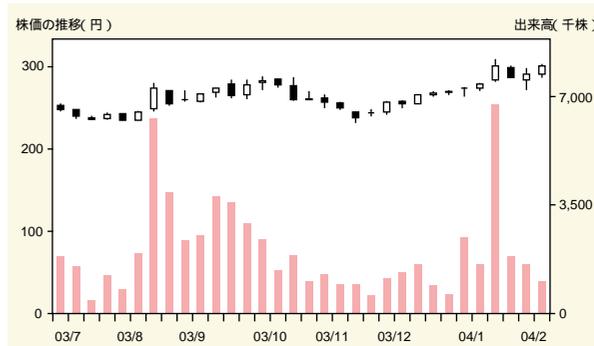
所有者別分布状況

金融機関	79,642千株	57.1%
証券会社	1,541千株	1.1%
一般法人	11,356千株	8.2%
外国人	10,309千株	7.4%
個人・その他	36,540千株	26.2%
当社(自己株式)	24千株	0.0%



株価および売買高の推移(東京証券取引所)

(証券コード9302)



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
同総会における議決権行使株主	3月31日現在1単元以上を有する株主
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)、大阪証券取引所(市場第1部)
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内一丁目4番3号)
名義書換代理人事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (住所:〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号) (代表電話:03-5683-5111) 【株式関係各種用紙のご請求】 株式の各種手続き用紙は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットで24時間承っております。 電話 フリーダイヤル0120-24-4479(自動応答システム) URL <a href="http://www.ufjtrustbank.co.jp/">http://www.ufjtrustbank.co.jp/</a>
名義書換事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社本店 全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取り	単元未満株式(1株~999株)の買取りは上記の名義書換代理人事務取扱所及び名義書換事務取扱所にてお取扱いしております。 (注)当社は単元未満株式の「買増し請求制度」は採用しておりません。
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告に代わる貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス	<a href="http://www.mitsui-soko.co.jp/j/koukoku/">http://www.mitsui-soko.co.jp/j/koukoku/</a> (当社の下記ホームページのトップページからもアクセスできます)

### ホームページの ご案内

三井倉庫はインターネット上に日本語版・英語版のホームページを開設しております。  
決算短信など最新の企業情報をご覧くださいませ。

URL <http://www.mitsui-soko.co.jp/>